

お客さまから、
「私たちの金融機関」と支持され、評価される
『アワーズしんきんバンクの実現』を目指します。



会 長
吉本 淳一



理事長
佐藤 信明

平素より北海道信用金庫に格別のお引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。

本誌は、当金庫の経営内容及び地域に根ざした営業活動、地域貢献等についてご理解を深めていただけるよう作成いたしました。本誌を通じ、当金庫の営業概況・経営姿勢をご理解いただければ幸いです。

2021年度の我が国経済は、上期に新型コロナウイルス感染症の第4波、第5波が発生し、経済活動の自粛等を余儀なくされたことで、非常に厳しい状況からのスタートとなりました。その後、ワクチン接種の進展等による感染者数の減少、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の解除により、行動制限が段階的に緩和され、景気持ち直しの動きもみられましたが、2022年に入り、新たな変異株による感染急拡大により、状況は一変しました。その後、経済活動の正常化への動きも見え始めておりますが、新型コロナウイルス感染症の動向には引き続き注意を要するほか、ウクライナ情勢、原材料価格やエネルギー価格、市場金利や為替相場の動向など、世界情勢が地域経済に与える影響についても注視していく必要があります。

先行き不透明な状況が続きますが、当金庫は不変の最重要課題かつ喫緊の最優先課題であるコンプライアンス態勢の強化、顧客保護等の徹底、リスク管理態勢の構築・強化を進めるとともに、「地域を守る」ための取組みに全力を注いでまいります。そして、「四方よし」*の経営を実践し、「アワーズしんきんバンクの実現」を目指してまいります。

さて、当金庫は2021年12月2日に記念すべき創立100周年を迎えました。2022年度は北海道信用金庫の新世紀初年度となります。長きにわたり当金庫を支援していただいた地域の皆さまに感謝申し上げますとともに、新たな決意のもと役職員が一丸となって業務に邁進してまいりますので、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます、巻頭の挨拶といたします。

2022年7月

*「四方よし」…「会員・お客様よし」「地域社会よし」「金庫・役職員(家族)よし」「環境よし」